

2021年度 学生生活の満足度調査結果（コミュニティ生活学科）

1 調査回答者

2年次 56名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	0人 0%	18人 32%	38人 68%	0人 0%	56人
	授業	0人 0%	3人 5%	15人 27%	38人 68%	0人 0%	56人
	授業科目が豊富で充実していた	0人 0%	1人 2%	8人 14%	47人 84%	0人 0%	56人
	自分の将来の目標や適性にあわせて科目を自由に選べるのがよかった	0人 0%	1人 2%	14人 25%	41人 73%	0人 0%	56人
	学びたいと思っていたことを学ぶことができた	0人 0%	4人 7%	16人 29%	36人 64%	0人 0%	56人
	入学前に期待したとおり(または期待以上)の授業や指導を受けられた	0人 0%	6人 11%	20人 36%	30人 54%	0人 0%	56人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	1人 2%	17人 30%	38人 68%	0人 0%	56人
	職員のサポート体制	0人 0%	2人 4%	16人 29%	38人 68%	0人 0%	56人
	チューターのサポート体制	0人 0%	2人 4%	8人 14%	46人 82%	0人 0%	56人
	自分でチューター(セミナー)を選べるのがよかった	0人 0%	1人 2%	3人 5%	52人 93%	0人 0%	56人
	自分にとって大切な友達を作ることができた	0人 0%	2人 4%	13人 23%	41人 73%	0人 0%	56人
	自分の個性を大切にしてくれる学科だ	0人 0%	1人 2%	11人 20%	44人 79%	0人 0%	56人
	コミュニティ生活学科に入学してよかった	0人 0%	1人 2%	8人 14%	47人 84%	0人 0%	56人
	入学してきた時よりも成長した	0人 0%	1人 2%	12人 21%	43人 77%	0人 0%	56人
コロナ対応に係るサポート体制	1人 2%	3人 5%	17人 30%	35人 63%	0人 0%	56人	
キャリアアップ	就職支援体制	1人 2%	9人 16%	16人 29%	30人 54%	0人 0%	56人
	資格取得支援体制	1人 2%	2人 4%	16人 29%	37人 66%	0人 0%	56人
自治会活動	自治会活動全般	3人 5%	4人 7%	16人 29%	21人 38%	12人 21%	56人
施設	図書館	0人 0%	3人 5%	19人 34%	34人 61%	0人 0%	56人
	食堂	0人 0%	5人 9%	21人 38%	30人 54%	0人 0%	56人
	保健室	1人 2%	1人 2%	17人 30%	37人 66%	0人 0%	56人
	学生相談室	1人 2%	1人 2%	19人 34%	35人 63%	0人 0%	56人
	施設や設備全般	2人 4%	5人 9%	19人 34%	30人 54%	0人 0%	56人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	2人 4%	15人 27%	39人 70%	0人 0%	56人

※「その他」は、無回答だったものです。

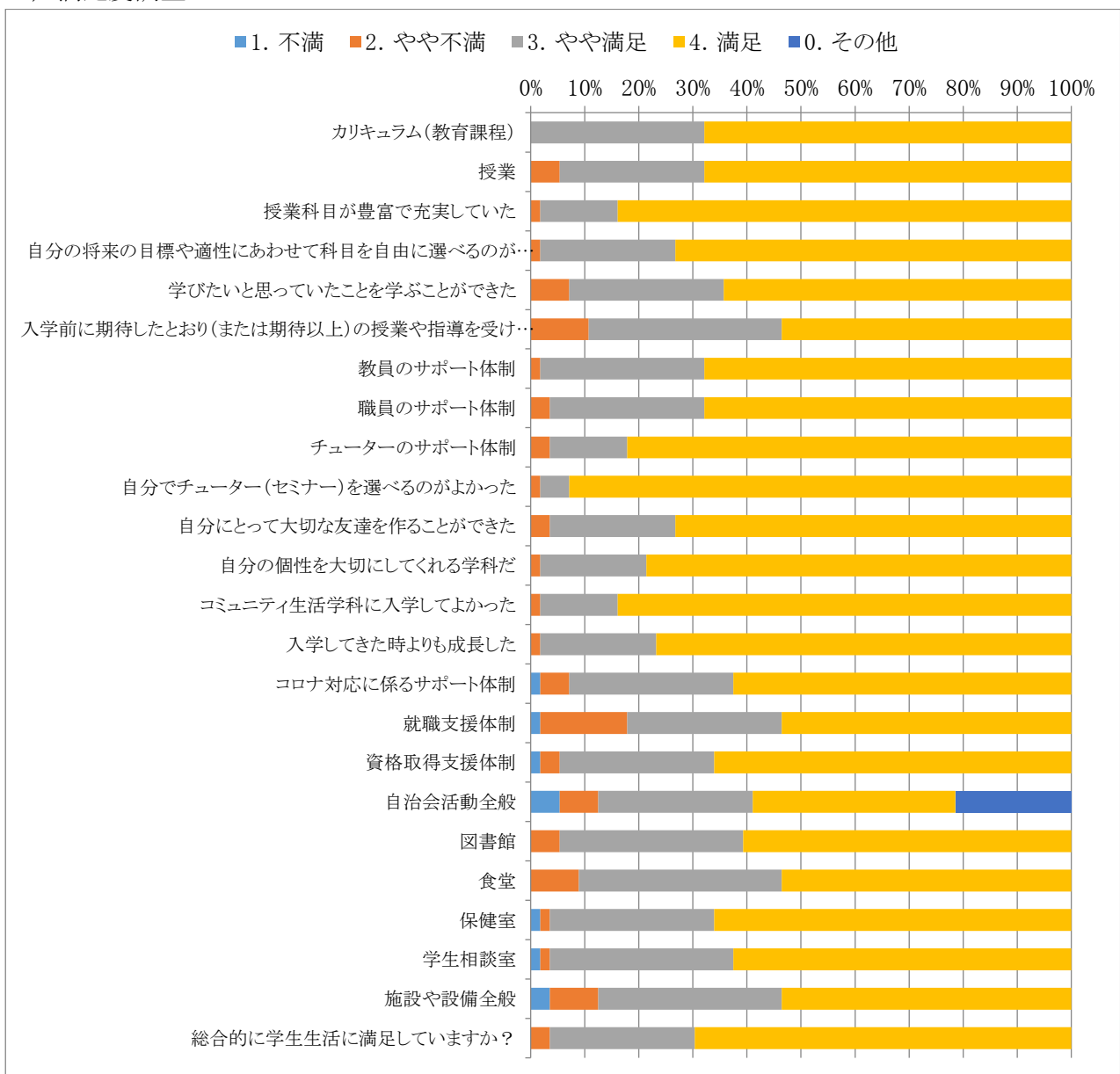
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. やや身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
専門的な知識や技術を身につけることができた	1人 2%	1人 2%	16人 29%	38人 68%	0人 0%	56人
これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた	0人 0%	1人 2%	15人 27%	40人 71%	0人 0%	56人
人と積極的にかかわれるようになった	0人 0%	4人 7%	17人 30%	35人 63%	0人 0%	56人
社会や地域など、だれかのために役立ちたいと考えるようになった	0人 0%	2人 4%	19人 34%	35人 63%	0人 0%	56人
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長があった	0人 0%	3人 5%	16人 29%	37人 66%	0人 0%	56人
短大生活を通して精神的に成長した	0人 0%	3人 5%	13人 23%	40人 71%	0人 0%	56人
短大生活を通して自立できる自信がついた	0人 0%	2人 4%	19人 34%	35人 63%	0人 0%	56人

※「その他」は、無回答だったものです。

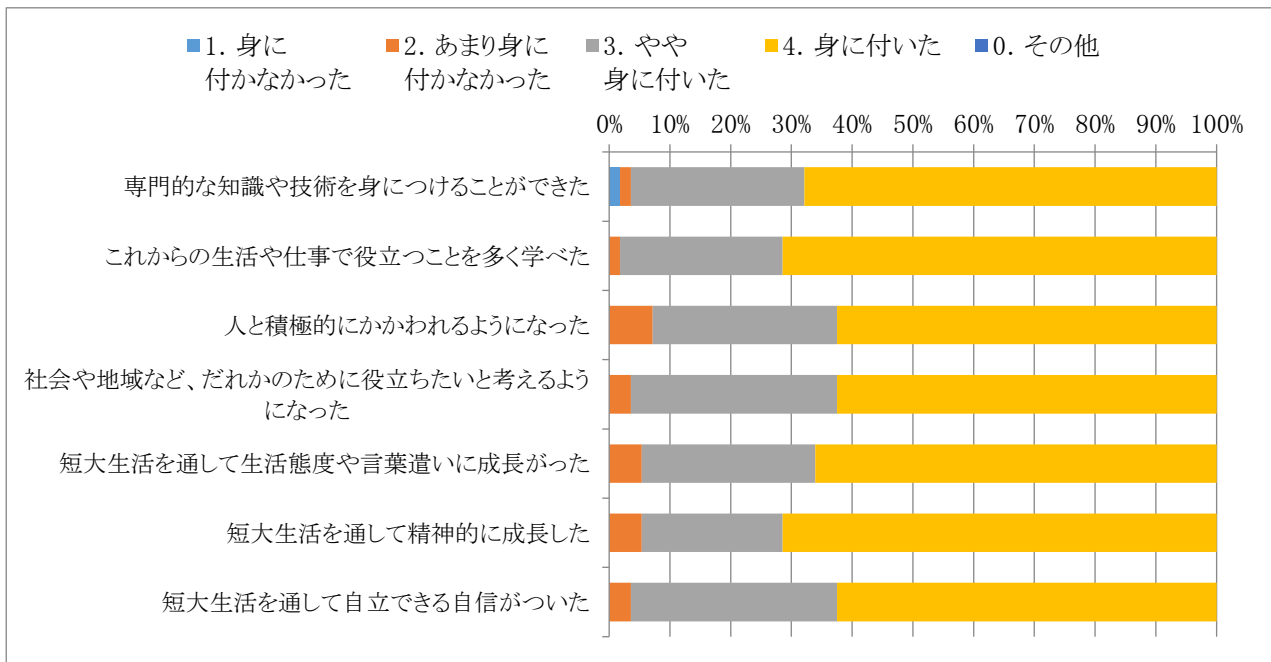
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答だったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答だったものです。

4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

- ① 満足度調査については、満足の割合が高い項目は以下の8項目だった。
「授業科目が豊富で充実していた」84%、「自分の将来の目標や適性に合わせて科目を自由に選べるのが良かった」73%、「チューターのサポート体制」82%、「自分でチューター(セミナー)を選べるのが良かった」93%、「自分の個性を大切にしてくれる学科だ」79%、「コミュニティ生活学科に入学してよかった」84%、「入学してきた時よりも成長した」77%、「総合的に学生生活に満足していますか？」77%。1年次終了時期に比べて、1年間で12～30%高くなった。
- ② 課題としては、全体の回答率が57%と低かったこと、「就職支援体制」にやや不満と答えた学生が16%と高かったことがあげられる。

(2) 要因分析

本学科はオープンキャンパスや入試説明会において、学科の特徴や学びの説明を聞いて入学してきた学生が大半を占めている。そうした学科の特性が学ぶ側の学生に理解され、期待される学びが実践できた2年間の評価だと考える。「就職支援体制」について1年生の時期から、チューターによる個人面談の時間などで就職について話す機会を増やしていくことで就職支援体制への不安を解決していきたいと思う。

(3) 本年度の対策

引き続き、学生とのコミュニケーションを丁寧にとることを心掛ける。夢カルテを生かした「学習面」「生活面」の身近な目標達成を半年に1回振り返っていくことを踏まえ達成感や満足感を味わう機会をつくる。日々の授業で学びの充実を実感できるよう授業を工夫していく。

2) 自己点検のまとめ

- ① 自己点検については、満足の割合が高い項目は以下の2項目だった。「これからの生活や仕事で

役立つことを多く学べた」71%、「短大生活を通して精神的に成長した」71%。

- ② 1年次の調査と比較するとすべての項目で 22~34%満足の割合が高くなった。特に、「人と積極的に関われるようになった」34%、「短大生活を通して自立できる自信がついた」33%と「満足」を選んだ割合が高くなっていた。コロナ禍で、遠隔授業(C-Learning)と対面授業とを併用した体制で進めた 2年生を終え、全体の満足度が上がったのは、チューターのサポート体制が反映される学生生活の満足度の高さと 2年間で何ができるようになったかの指標となる 自己点検評価の高さによるものと考えられる。

2021年度 学生生活の満足度調査結果（食物栄養学科）

1. 調査回答者

2年次 31名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	1人 3%	2人 6%	15人 48%	13人 42%	0人 0%	31人
	授業	2人 6%	2人 6%	18人 58%	9人 29%	0人 0%	31人
	食物栄養学科で行われている行事 やボランティア活動	2人 6%	4人 13%	16人 52%	9人 29%	0人 0%	31人
	食物栄養学科で行ったセミナー 指導	1人 3%	1人 3%	10人 32%	19人 61%	0人 0%	31人
学生生活	教員のサポート体制	1人 3%	0人 0%	14人 45%	16人 52%	0人 0%	31人
	チューターのサポート体制	0人 0%	2人 6%	8人 26%	21人 68%	0人 0%	31人
	職員のサポート体制	0人 0%	4人 13%	15人 48%	12人 39%	0人 0%	31人
	コロナ対応に係るサポート体制	2人 6%	7人 23%	11人 35%	11人 35%	0人 0%	31人
キャリア アップ	就職支援体制	0人 0%	0人 0%	11人 35%	20人 65%	0人 0%	31人
	資格取得支援体制	0人 0%	1人 3%	14人 45%	16人 52%	0人 0%	31人
自治会 活動	自治会活動全般	1人 3%	5人 16%	18人 58%	7人 23%	0人 0%	31人
施設	図書館	0人 0%	0人 0%	14人 45%	17人 55%	0人 0%	31人
	食堂	2人 6%	2人 6%	18人 58%	9人 29%	0人 0%	31人
	保健室	1人 3%	0人 0%	14人 45%	16人 52%	0人 0%	31人
	学生相談室	1人 3%	0人 0%	17人 55%	13人 42%	0人 0%	31人
	施設や設備全般	3人 10%	4人 13%	14人 45%	10人 32%	0人 0%	31人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	2人 6%	3人 10%	17人 55%	9人 29%	0人 0%	31人

※「その他」は、無回答だったものです。

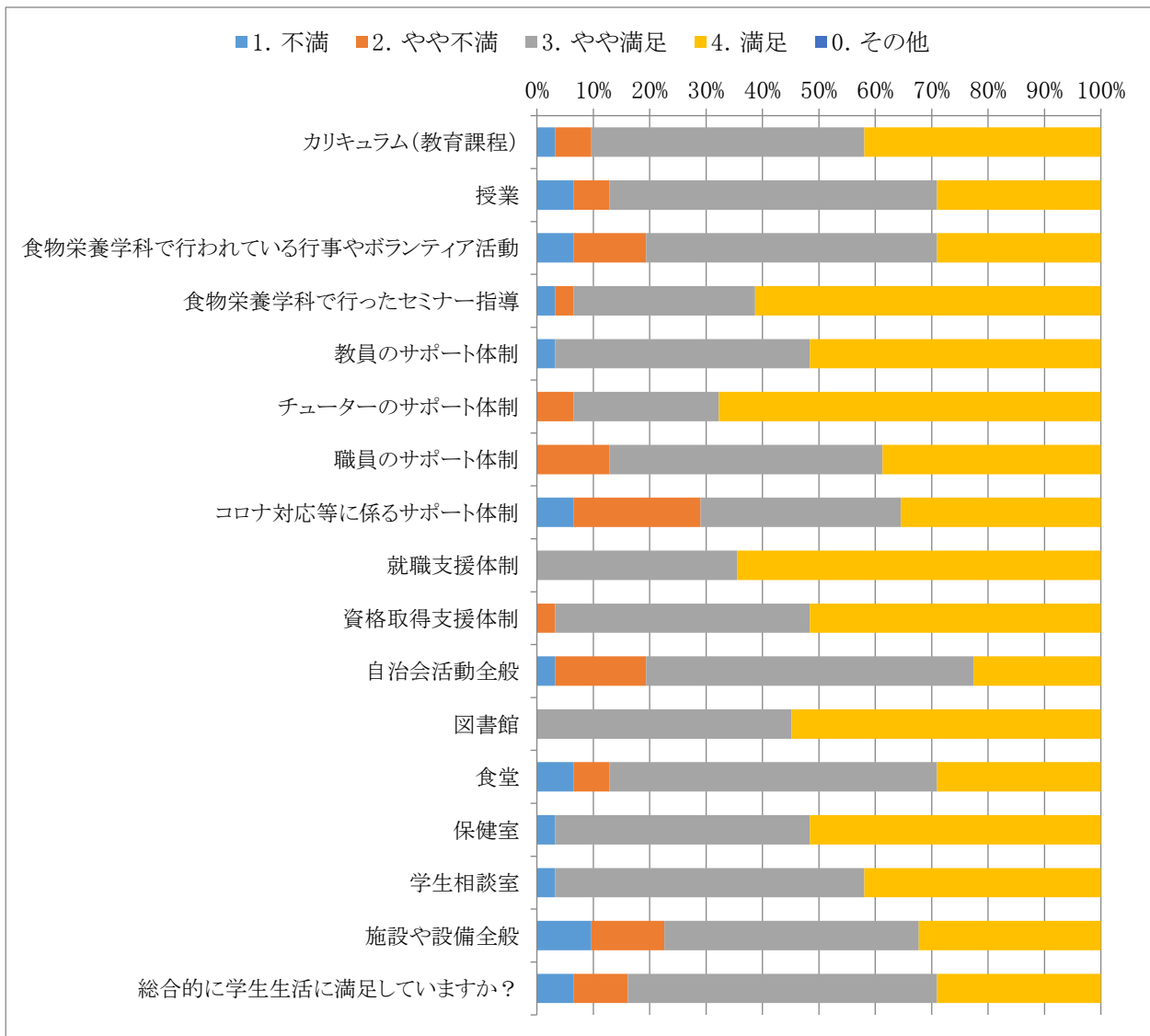
2) 自己点検

項目	1. 身に 付かなかった	2. あまり身に 付かなかった	3. やや 身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
栄養士として必要な専門的な知識や技術を 身につけることができた	1人 3%	2人 6%	18人 58%	10人 32%	0人 0%	31人
食物栄養学科の1年間で調理技術が 向上した	1人 3%	1人 3%	17人 55%	12人 39%	0人 0%	31人
対象者に合った献立作成や調理、 栄養指導ができるようになった	1人 3%	1人 3%	22人 71%	7人 23%	0人 0%	31人
自らの食生活を振り返り、自己評価するこ とができるようになった	0人 0%	0人 0%	21人 68%	10人 32%	0人 0%	31人
短大生活を通して 社会的に自立できる自信があった	0人 0%	0人 0%	21人 68%	10人 32%	0人 0%	31人

※「その他」は、無回答だったものです。

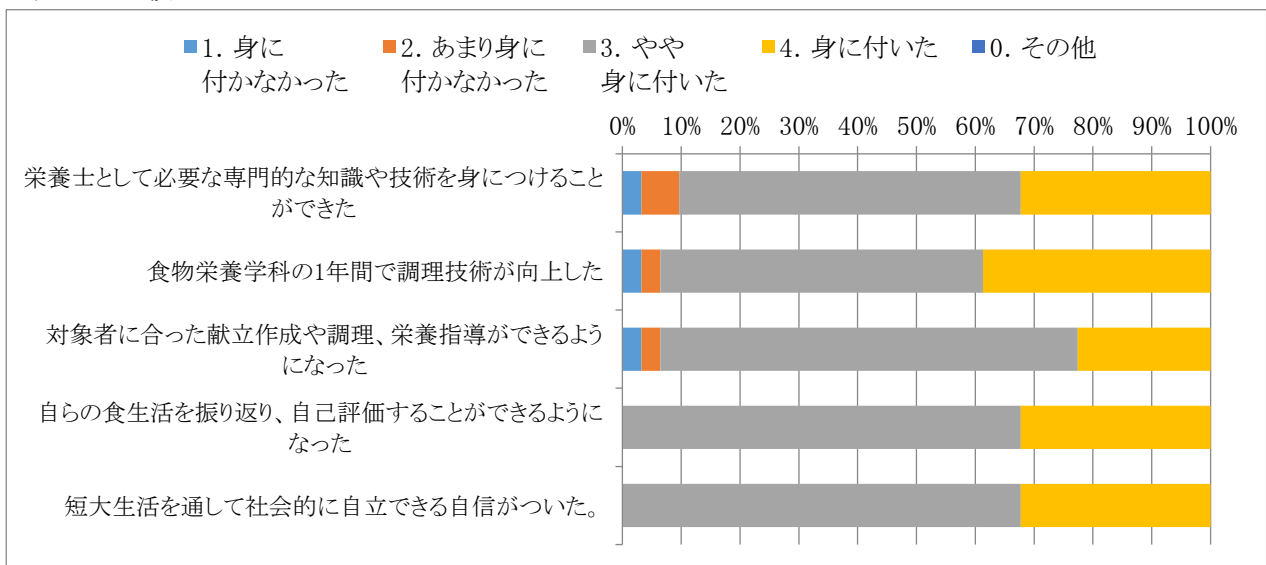
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答だったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答だったものです。

4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

今回の調査は6領域、17項目について行われた。

「教務」領域についての項目では、「満足」または「やや満足」を回答した者は、カリキュラムやセミナー指導において90%以上であり、特にセミナー指導では、93%で高く評価されていた。一方、食物栄養学科の授業については87%、学科の行事やボランティア活動では81%であった。

「学生生活」領域については、「満足」または「やや満足」と回答した者は、教員のサポート体制及びチューターのサポート体制は94%以上、職員のサポート体制は85%、コロナ対応に係るサポート体制は70%であった。コロナ対応のサポート体制については「不満」または「やや不満」が29%であった。

「キャリアアップ」領域の2項目については、「満足」または「やや満足」と回答した者は就職支援体制は100%、資格取得体制は97%であった。

「自治会活動」領域については、「満足」または「やや満足」と回答した者は81%であり、「やや不満」または「不満」が19%であった。

「施設」領域では、「満足」または「やや満足」と回答した者は、図書館と保健室が100%、学生相談室が97%、食堂は87%、施設や設備全般は77%であった。

総合的な満足度については、学科が設定している「満足」「やや満足」90%以上に対して、今回の調査結果では、84%であり、目標に達することができなかった。

(2) 要因分析

対象学年は、入学当初からコロナ禍の中にあり、対面授業の実施方法の変更や学科行事、学内行事等が中止となるなど、新型コロナウイルス感染症の対策を行うために、学生達は多くの制約の中で学生生活を過ごすこととなった。

「教務」領域の授業については、オンライン授業の併用により対面授業とは異なる環境下であったことにより、実際に実験実習の機会が得られなかったことが要因と考えられる。

「学生生活」領域では、教員やチューターによるサポート体制は概ね満足していたが、食物栄養学科では「きめ細かな学生指導」を行っており、その成果が結果に反映されたものと思われる。その一方で、コロナ対応に係るサポート体制については、自由記述にもあるように不満を感じていたことが感じ取れる。

「キャリアアップ」領域の満足度が高い評価であったことは、学科とキャリアセンターとの連携により、学生の進路決定率が100%であることから、学生一人一人に寄り添った進路支援ができていたことがわかる。

「自治会活動」領域については、昨年度に続いて本年度も大学祭やスポーツ大会が中止となり、行事が行われなかったことが「不満」「やや不満」になった要因と思われる。

「施設」領域については、学生のニーズに対応できていた図書館や保健室、学生相談室などの評価が高かった。一方で、施設や設備全般については、実験や実習で使用していた教室の施設環境や設備・備品の老朽化などにより、満足度がやや低い評価になったものと思われる。

総合的な満足度が、目標の90%以上に達しなかったのは、主な要因はコロナ禍の中での学生生活であったことにより、様々な活動がこれまでと変化したことによるものと考えられる。

(3) 本年度の対策

コロナ禍における学生生活が続くことから、さらに授業を充実させる必要性を感じている。対面授業を充実させるとともに、オンライン授業も想定しながら、授業内容の充実を図りたい。特にコロナ対応に係るサポート体制を整えたい。

セミナー&チューター制を活用して、引き続き、学生に寄り添ったきめ細かい支援を行い、学業や学生生活、進路支援などを行い、満足度の向上に努めたい。

2) 自己点検のまとめ

自己点検の5項目に関しては、「身に付いた」と「やや身に付いた」を合計して「身に付いた」とすると、すべての項目において、90～100%が「身に付いた」と回答していた。特に、「自らの食生活を振り返り、自己評価ができるようになった」及び「短大生活を通して社会的に自立できる自信がついた」は100%であった。いずれの項目も、1年次の調査結果よりも、評価が高くなっており、2年次の学生生活が充実していたことがわかる。

2021年度 学生生活の満足度調査結果（保育学科）

1. 調査回答者

2年次 56名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	1人 2%	7人 13%	33人 59%	15人 27%	0人 0%	56人
	授業	1人 2%	10人 18%	32人 57%	13人 23%	0人 0%	56人
	授業科目が充実していた	1人 2%	7人 13%	28人 50%	20人 36%	0人 0%	56人
	ピアレッスンで自分の力を伸ばすことができた	1人 2%	1人 2%	16人 29%	38人 68%	0人 0%	56人
	教育実習・保育実習で保育力を伸ばすことができた	1人 2%	0人 0%	20人 36%	35人 63%	0人 0%	56人
	運動会や生活発表会で実践力を伸ばすことができた	24人 43%	14人 25%	13人 23%	5人 9%	0人 0%	56人
	入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた	3人 5%	15人 27%	26人 46%	12人 21%	0人 0%	56人
学生生活	教員のサポート体制	1人 2%	3人 5%	32人 57%	20人 36%	0人 0%	56人
	職員のサポート体制	1人 2%	3人 5%	30人 54%	22人 39%	0人 0%	56人
	チューターのサポート体制	1人 2%	1人 2%	23人 41%	31人 55%	0人 0%	56人
	自分にとって大切な友達を作ることができた	1人 2%	2人 4%	19人 34%	34人 61%	0人 0%	56人
	保育学科に入学してよかった	1人 2%	0人 0%	26人 46%	29人 52%	0人 0%	56人
	コロナ対応等に係るサポート体制	4人 7%	8人 14%	21人 38%	23人 41%	0人 0%	56人
キャリアアップ	就職支援体制	1人 2%	6人 11%	25人 45%	24人 43%	0人 0%	56人
	資格取得支援体制	1人 2%	6人 11%	25人 45%	24人 43%	0人 0%	56人
自治会活動	自治会活動全般	8人 14%	8人 14%	27人 48%	11人 20%	2人 4%	56人
施設	図書館	1人 2%	0人 0%	20人 36%	35人 63%	0人 0%	56人
	食堂	2人 4%	3人 5%	20人 36%	31人 55%	0人 0%	56人
	保健室	1人 2%	0人 0%	26人 46%	29人 52%	0人 0%	56人
	学生相談室	1人 2%	2人 4%	27人 48%	26人 46%	0人 0%	56人
	施設や設備全般	3人 5%	10人 18%	24人 43%	19人 34%	0人 0%	56人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	1人 2%	9人 16%	27人 48%	19人 34%	0人 0%	56人

※「その他」は、無回答だったものです。

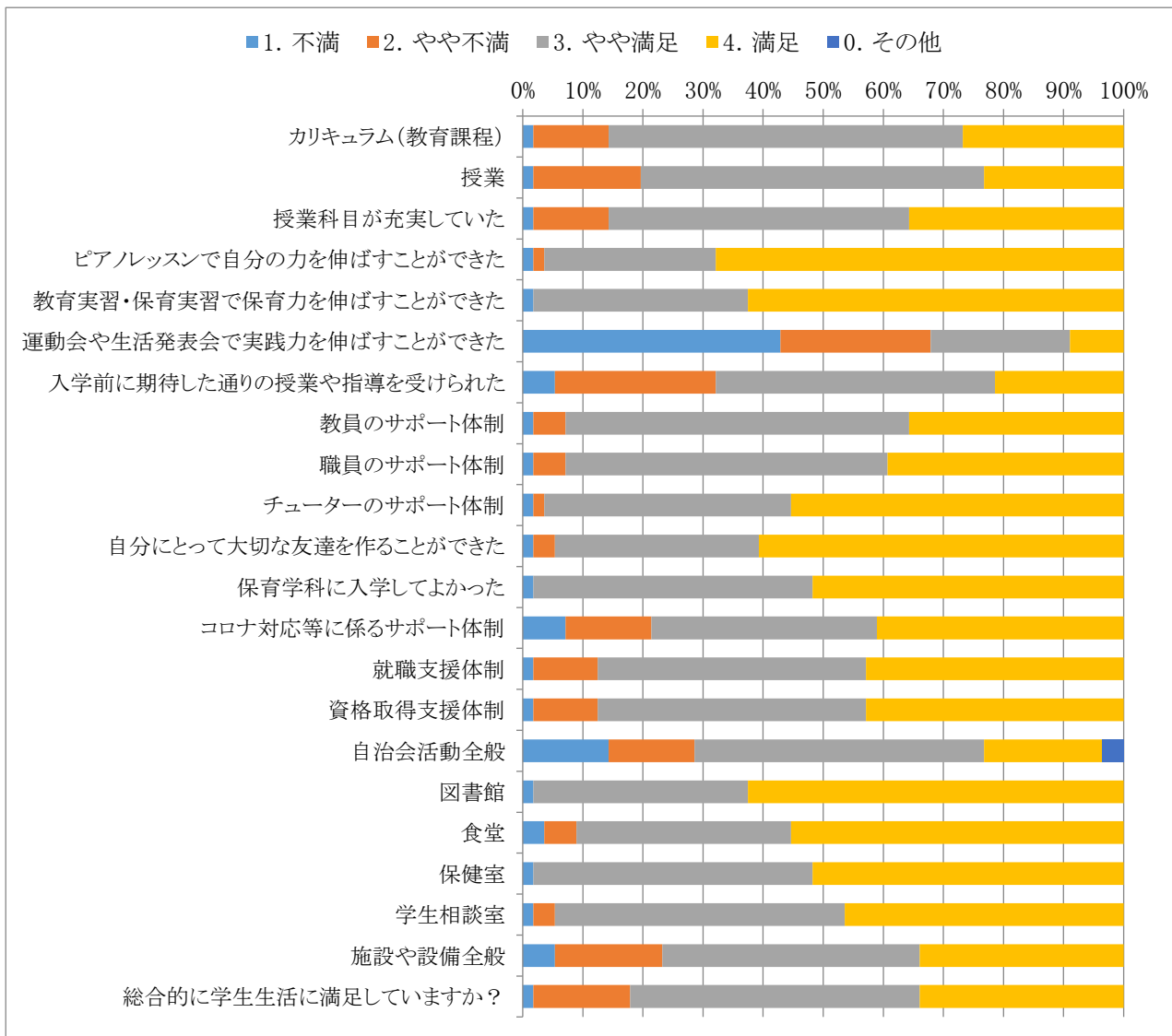
2) 自己点検

項目	1. 身に付かぬかった		2. あまり身に付かぬかった		3. やや身に付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
短大生活を通して専門的な知識や技術を身につけることができた	0人	0%	1人	2%	30人	54%	25人	45%	0人	0%	56人
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長があった	0人	0%	1人	2%	34人	61%	21人	38%	0人	0%	56人
短大生活を通して精神的に成長した	1人	2%	4人	7%	26人	46%	25人	45%	0人	0%	56人
短大生活を通して自立できる自信がついた	0人	0%	6人	11%	31人	55%	19人	34%	0人	0%	56人
自立した大人として責任を持った行動ができるようになった	0人	0%	2人	4%	35人	63%	19人	34%	0人	0%	56人
チームワークを大切にすることができるようになった	0人	0%	1人	2%	26人	46%	29人	52%	0人	0%	56人
周囲と良好なコミュニケーションをとることができるようになった	0人	0%	3人	5%	31人	55%	22人	39%	0人	0%	56人
社会や地域など、誰かのために役立ちたいと考えるようになった	0人	0%	3人	5%	31人	55%	22人	39%	0人	0%	56人

※「その他」は、無回答だったものです。

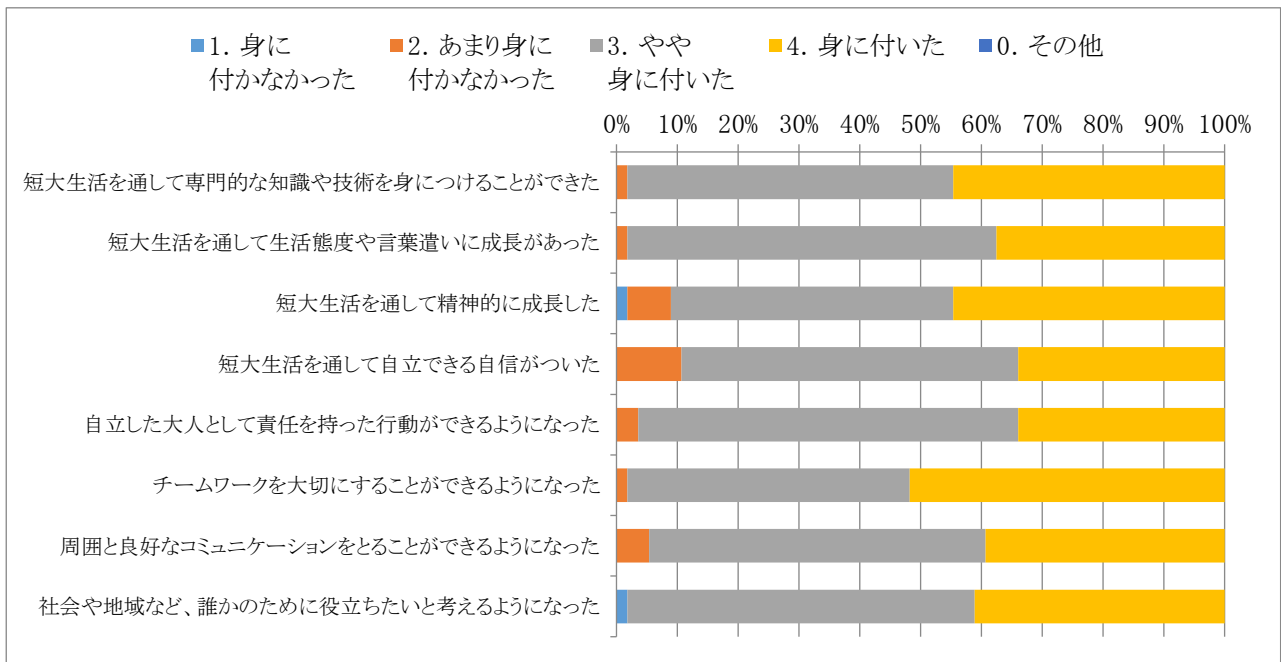
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答だったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答だったものです。

4 まとめ

1) 満足度調査

(1) 状況と課題

「教務」の領域では、“満足群”を表す「やや満足」と「満足」の占める割合が高い結果となったのは、「ピアノレッスン」97%、「教育・保育実習」99%と実践力の伸長に係る項目であった。「カリキュラム」「授業」「授業科目」「期待通りの授業」の項目においても、すべて80%を超える満足度となっている。一方で、「運動会や生活発表会で実践力育成」「期待した通りの授業や指導」の項目の満足度は大変低い。

「学生生活」の領域では、いずれの項目においても90%を超える高い満足度となっている。特に、「教員のサポート」「職員のサポート」「チューターのサポート」については、95%前後の満足度である。一方で、「コロナ禍におけるサポート体制」の項目は79%とやや低い。

「キャリアアップ」の領域では、「就職支援」「資格取得支援」共に88%と高い満足度である。

「自治会活動全般」は68%の満足度と低い結果であった。

「施設」の領域では、「図書館」「食堂」「保健室」「学生相談室」のいずれの項目においても、90%を超える学生が満足しているという結果となった。現状の施設・設備の中での、最善の対応の結果と思われる。一方で、「施設や設備全般」への満足度は77%とやや低い。行事の準備を行ったり空き時間を有意義に過ごしたりするための居場所は十分とは言えない。

課題は、いずれの領域においても、コロナ禍における対応の工夫といえよう。また、就職や資格取得に関して、1年生時からいかに意識化させていくかも課題だと感じている。

(2) 要因分析

教務の領域における高い満足度は、多くの学生が抱えるピアノ演奏への不安を個々の力量に応じた個別レッスンによって解消できるようにする取組や、実習における直接体験をはじめ、学科行事等における体験学習を通して実践力を伸ばしていきたいという、本学科において特に力を入れて取り組んできたことが成果を上げてきたものと思われる。また、2年生では立て続けに行われる実習での巡回教員とのかわりや、卒業研究を進める中でのチューターの丁寧な指導、就職活動に向けての学生個々の状況に応じた支援など、学生と教員・職員との密接なかわりなくしては成り立たない活動が増えてくる。そ

の際の丁寧な支援の結果が、満足度に如実に現れたものと推察される。

一方で、本学年は入学後の2年間で、すべてコロナ禍の対応に追われる学生生活を強いられ、その無念さが顕著に表れている。

(3) 本年度の対策

今後とも、担当教員はもとより学科教員全員が一丸となり、学生個々の実情に応じた細やかな支援に努め、全員が様々な活動を通して確かな成長を実感できるよう努めたい。また、授業においても一層の指導方法の工夫・改善を進めていきたい。

さらに、学生個々の自立に向けて、求めや状況に応じたサポート体制の一層の充実に努めていきたい。特に、チューターと連動したキャリアセンター職員の細やかなサポート姿勢は、学生にとって大きな支えとなっていることは間違いない。今後とも、現在の体制をしっかりと維持し向上させていきたいと考える。

2) 自己点検のまとめ

「自立できる自信」の項目を除き、他のすべての項目において95%前後の高い自己評価結果であった。特に、「専門的な知識・技術の習得」「生活体道や言葉遣い」「チームワーク」の項目は99・98%と非常に高い。例年課題となっている「良好なコミュニケーション力」の項目についても94%の学生が身に付いたとの自己評価であった。この結果は、1年間の学生生活を通して、保育者としての基礎をはじめ自己の成長を実感している学生が多いということがうかがえる。今後の実習などの様々な活動を通して、更に自己を高めていくことが予想される。

一方で、成長が十分ではないと感じている学生が少なからずいる。自己肯定感の低さが、本学科の学生の顕著な傾向である。現状をしっかりと受け止めつつ、一人一人の学生の伸びていく姿をつぶさにとらえ、自信につながる評価活動を進めていきたいと考える。